

未来の電力と

あなたの人生を、

本気で考える会社。

仲間とともに力を合わせ、
電力を未来へとつなぐ。





さまざまな機械の動作や、コンピュータ制御、通信、空調、照明。

もし止まれば社会の機能が麻痺すると言っても過言ではない発電設備が、

トラブルなく動き続けるようメンテナンスを行う、

私たち中部プラントサービス。

とても1人では太刀打ちできない巨大なスケールであると同時に、

1/100mmレベルの精度が要求される精密マシンでもあるこのプラントに、

技術者たちは多いときで自社と協力会社の1000人もの仲間とともに立ち向かいます。

使命感や情熱を持った仲間と、互いに信頼し合い、力を合わせ、やり遂げる。

刺激を受けながら、自分自身の技術力や対応力を磨いていく。

この先の人生の長い時間をかけて、

ずっと成長を続けられる仕事と環境が、ここに 있습니다。





そして何より社員のため。

未来の電力のため。

まだ見ぬ市場に挑むのは、

日本全国へ、海外へ。

高い技術力がある。

それを持つ人という宝がいる。

中部電力の、水力以外のほぼ全発電所のメンテナンスを手がける当社。選ばれる理由は、単にグループ会社というだけでなく、独自の技術にあります。たとえば火力発電所のガスタービン保守では、高温下で劣化した直径4mもの巨大な羽根を1/100mm精度で修理する芸術的な技術があります。発電設備の省エネや出力安定を実現する制御技術も、発電所を熟知した当社ならではの強みです。このような技術力は、人に帰属するもの。そして大型プラントを相手にできる人が育つには、時間を要します。この先も社員が長く活躍し技術を継承して、電力を守り続けられる会社であるためには、事業の安定・拡大が不可欠です。そのための挑戦は、すでに始まっています。

培った技術で国内の

電力自由化時代を勝ち抜く。

電力の小売全面自由化により、一般ユーザーが全国各地でも好きな電力・新電力会社から電気を買えるようになりました。電力会社にとって競争が激化する中、私たちが描く国内ビジョンは、お客さまの「ベストパートナー」として、これまで以上の技術提案を行うこと。一方で他地域のお客さまに対しても、ガスタービン保守技術や、国内初となる浜岡原子力発電所廃止措置計画の知見を提供していきたい考えです。さらに、三重県多気町で自社所有のバイオマス発電所を建設・稼働させた、エネルギーの「地産地消」ノウハウの事業化も視野に。電力以外でも、実績のある石油プラントメンテナンスの拡販など、培った技術による多彩なビジョンを描いています。

建設から保守・点検までの

総合的なノウハウを、海外へ。

舞台は国内にとどまりません。中部電力がタイ・バンコクに建設した小規模発電設備のプロジェクトでは、当社の技術者が設計・調達・建設に関するコンサルティング業務を担当しました。またプラント建設を得意とするインドネシアの企業と、高度なメンテナンス技術を持つ当社が、将来の海外事業におけるパートナーとなるため、インドネシア人技術者の受け入れや、当社社員のインドネシアでの建設事業への参加といった人事交流をめざしています。国内のみならず、今後電力ニーズの増加が見込まれる海外でも、大小さまざまな発電プラントを相手に、建設から保守・点検まで一貫して手がけられる存在。それが私たちのめざす姿です。

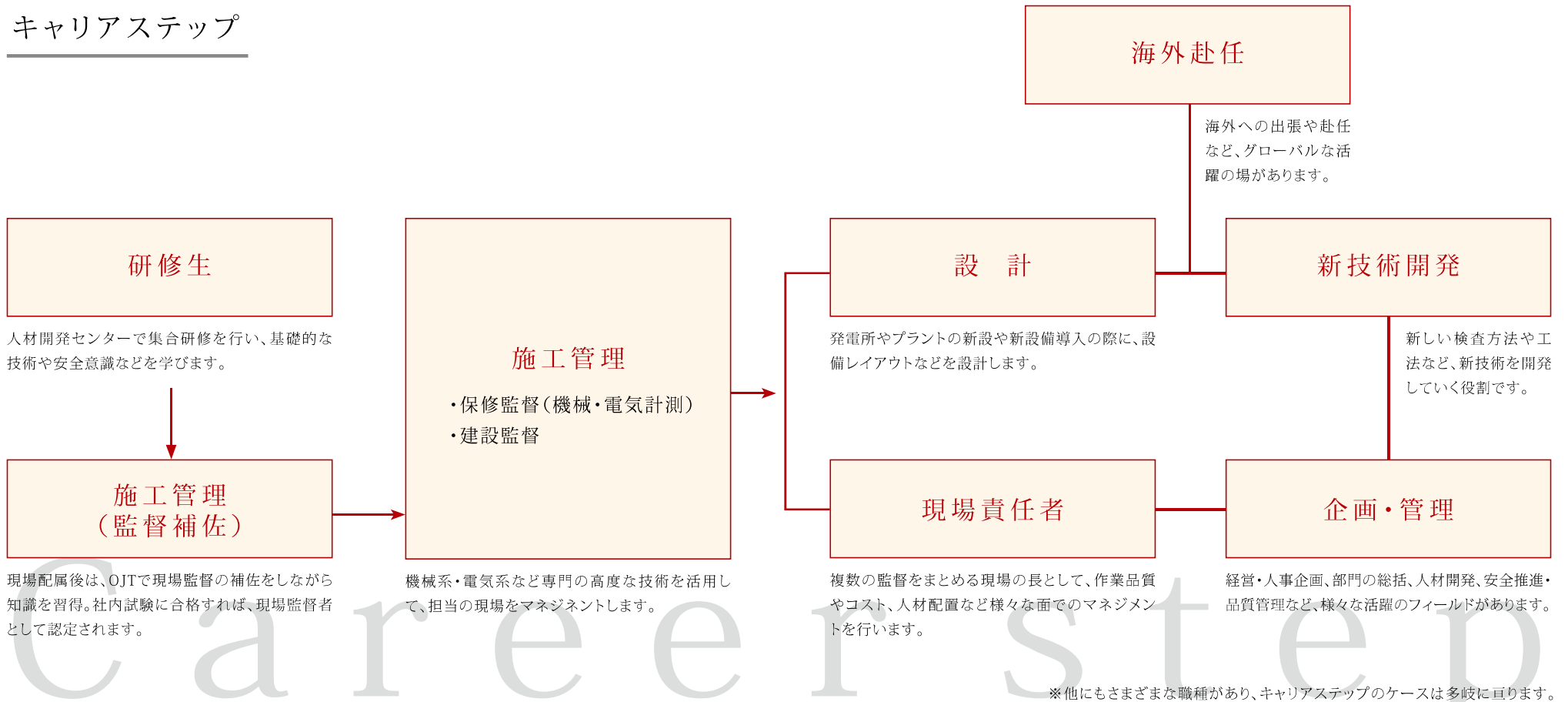


生きがいをつくる。

幅広い挑戦の機会が、

設計、技術開発、海外。

キャリアステップ



社員メッセージ



加賀 舞衣子

新名古屋事業所
電気・計測課
2014年入社
理工学部 電気電子工学科 卒業

発電所の「神経」を 健康に保つドクター。

私の担当は、火力発電所の運転状況の監視や制御をする、現場計器や制御装置といった電気系機器のメンテナンス。たとえば燃料の流量調整バルブのチューニングや、温度測定用の熱電対の点検などです。実際の作業をするのは協力会社の作業員さんで、私の仕事はお客さまとの調整や現場の管理ですが、自分で作業をすることも。効率よい発電を実現するための、発電所の「神経」の診察や治療をするドクターのような仕事に、大きな意義を感じます。監督として心がけているのは、関係者各自の思い込みや勘違いを防ぐため、こまめに情報を集め発信すること。入社2年目の監督補佐時代には、大先輩から「ずっとこの現場にいてよ」と言われるうれしい経験もしました。大部分が男性でサバサバした人間関係の半面、産休・育休・時短勤務など女性が長く活躍できる制度にも魅力を感じながら、学生時代から興味があった発電の現場で、多くの人とチームで働く仕事を楽しんでいます。



片桐 善有

建設工事部 主務
2003年入社
工学部 電気工学科 卒業

組み上げた回路に、電気が通る。 それも超大型スケールの回路に。

火力や原子力・太陽光など、発電所設備の建設・解体工事。そのうち電気に関する箇所の施工管理が私の仕事です。これまで手がけた最大の現場は、受注額15億円、工期約4年半という規模。多いときで当社の施工管理者5~6人、協力会社の作業員約1000人が携わりました。私が担当したのは、火力発電所の燃料であるLNG基地のタンク設備。タンクからボイラーへ燃料を送るポンプやモータ、流量計といった機器を設置し、電気室との間をケーブルで配線する工事です。設計者が描いた2次元の図面をもとに、現場で他の設備との兼ね合いなどを考えて設置場所や方法を判断し、作業員さんに指示を出して完成へと導きました。いわば抵抗やコンデンサの代わりに機器という鉄の塊を配置していく、回路製作の巨大版。工事が終了して発電所の送電式に立ち会い、無事にLNGが送り出され電気が通る瞬間を迎えたときの、「本当に完成したんだ!」という感慨も、実に大きなものです。



池田 幸司郎

エンジニアリング本部
EPC技術部 マネジャー
1996年入社
工学部 機械工学課程 卒業

100%バイオマス燃料の大型発電所。 中部電力初の設備設計に挑む。

「お客さまのイメージを、どう現実の形にするか」を考えるのが設計の仕事です。たとえば中部電力が三重県四日市市に建設する、初の大型バイオマス発電所の建設プロジェクト。バイオマス燃料をスムーズに運搬し連続的に供給するための設備のレイアウトは？ 復水器や空圧機器といった設備選定の際の、導入コストと品質、調達性などのバランスは？ 通路の広さや機器の配置を決める際には「メンテナンス作業がしやすいか」という当社だからこそその観点も盛り込み、チームで意見を交わしながら、正解のない中で最良の答を探ります。答を出すまでには紆余曲折ありますが、苦労した分、形になって引き渡し、お客さまの「ありがとう」の声を聞ける喜びも格別。以前、タイの発電所建設プロジェクトに発注側の施工管理者として参加するチャンスをもたらして身についたお客さま側の視点も活かしながら、今後の当社の事業拡大につながる大きな可能性を秘めた案件に挑んでいます。



森 敏也

執行役員
経営戦略本部長
1986年入社
工学部 機械工学科 卒業

技術者としての経験と人脈を財産に、 未来に向けて会社全体の舵を取る。

経営戦略本部は全社の経営に関する舵取りを行う部門で、経営企画部・事業戦略部・人事企画部の3つの部から成ります。本部長としての私の業務は、これらの部の統括と、事業戦略実現に向けた他社との会議や提携の交渉などです。実は、当社の経営戦略本部には現場出身者が多数います。これは、経営企画の立案に現場感覚が重要であるというトップの方針によるもの。私自身も長年にわたり、プラントの保守や改造工事に携わってきました。中部電力浜岡原子力発電所1・2号機の廃止計画では、プラントメーカーの社員とともに、北米の東海岸から西海岸まで発電施設を視察しながら横断する経験もしました。現在では彼らや出向先社員との人脈も、経営戦略立案のうえで大いに役立っています。出向や転勤に気が進まないこともありましたが、今になって思うのは、やはり若いうちにどんどん機会を手に入れ挑戦すべきだということ。経験はそのときしかできないのですから。

福利厚生

「ライフワークバランス」が先です。

仕事は人生の一部。
だから当社では「ライフワークバランス」と呼び、
適正なバランスがとれるよう推進しています。
長く仕事を続け成長するためにも、
まずは社員が安心して生活できることが重要との考えで、
さまざまな制度を整えています。



1

仕事の大先輩から、
卓球で一目置かれることも。

毎回熱戦が繰り上げられる職場対抗卓球大会などの体育系イベントと、みかん狩り・バーベキューといった文化系イベントを総称した、「文体イベント」が盛ん。仕事とは違ったお互いの一面を知ること、仕事のチームワークも自然と強くなります。

2

決められた休日日数よりも、
問題は本当に休めるかどうか。

年間休日は125日前後、有給休暇も平均して15日程度取得されており、休日が多い会社と言えます。全社的に連続休暇取得も促進。仕事を忘れて心を解放する年4日の「フリーオブハート休暇」や「積立休暇」「特別休暇」など、様々な独自の休暇を設けています。



「女性の活躍推進企業」として名古屋市から認定を受けました。



3

寮の先輩は、
公・私・筋トレの頼れる師匠。

社員寮は、プライバシーを確保できる個室に、先輩や同僚と交流できる談話室や食堂での朝食・夕食付き。歴代の筋トレ好きな先輩により、トレーニング機器も充実。仕事のこともプライベートもベンチプレスのコツも、いつでも相談できます。



5

結婚に出産、育児、介護。
人生の新しいステージを応援。

結婚して新生活を始める人には住居費を補助。産前産後休暇ももちろんあり、出産した女性はほぼ全員が産休を取り、その後復帰して活躍。男性の取得もあります。子育て・介護と仕事を両立しやすい時短勤務も。これらは、長く勤めてほしいという考えの表れです。



4

「1時間だけ有給休暇」
というのもあり。

一般的な企業では、有給休暇は1日単位か、細かくても半日単位で使えるものですが、当社では1時間単位で取得できます。効率よく仕事を終わらせて、趣味や習い事を楽しんだり、通院など平日しかできない用事をすませたりできます。



「子育て支援企業」として名古屋市から認定を受けました。

6

長期的にキャリアを描き、
なりたい自分をめざせる。

こまめに行われる上司との面談は、「新規事業に挑みたい」「技術レベルを高めたい」など、やりたいことを自己申告し、上司と共有するチャンスです。資格取得支援制度や社内の英会話教室で、必要な知識や技術の習得もバックアップします。



〒456-8516 名古屋市熱田区五本松町11番22号

TEL 052-679-1234(人事企画部)

<http://www.chubuplant.co.jp>